



第 15 号

発行所

近畿大学農学部緑友会
広報・編集委員会
631-8505 奈良市中町3327-204
TEL: 0742 (43) 1511
http://www.nara.kindai.ac.jp/

新しい取り組み

卒業生による現役学生キャリア支援

緑友会会長

村上哲男



卒業生の皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本会の運営に多大のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新しく600名の会員が加わり、卒業生の総数は21,799人になりました。この数は近畿大学卒業生(44万人)の5%に過ぎませんが、本会は活気を呈しております。

近年、高等教育を取り巻く環境が変化中、大学間の合併や提携、学部・学科の改組、短大から4年生大学へ、女子大から共学への移行等さまざまな波が押し寄せています。そのさなかにおこった世界的な金融危機、自民党から民主党への政権交代は大学経営にさらに大きな変化をもたらしています。農学部は長期的将来ビジョンのもとで5年前に学科改組を行ない目的に向かつて歩んでいます。同窓会も母校の使命達成のため、将来に向けてその姿を作り上げていかなければなりません。



まず組織化にあたっては卒業生の住所を把握し、常にコミュニケーションできるインフラを整備することが必要です。すでに緑友会では卒業生名簿を電子データベース化しており、約80%の卒業生の連絡先が把握できています。それをもとに毎年発行している緑友会会報を皆様にお届けしています。一方、在学生に対しては新入生歓迎会、卒業パーティー等の援助を行っていますが、学生への支援活動として同窓会組織がスポンサーとなって奨学金やキャリアサービスの提供も幹事会で検討されています。また、卒業生に対しては、図書館の開放、聴講生としての門戸の開放、卒業教育の場の提供の声が上がっています。

今年度から新しい取り組みとして、在学生へのキャリア支援を各学科でスタートさせました。卒業生と在校生が接触する機会をもち、会社で求められるスキルなどについて話しあうものです。11月には農学部祭に合わせて、食品栄養学科の管理栄養士で組織するキンカン会でそれぞれの職種で活躍されている卒業生が、在学生、卒業生、教員を前に現在の仕事の内容と抱負について話されました。参加した学生は熱心に自身の将来を見据えて聞き入っていました。この学生たちが、また社会で活躍され、いずれは大学の支援者になってくれるものと信じています。先輩、後輩が顔を合わせ、学生の就職相談に先輩たちが応えてあげるような関係が出来れば大学にとっても有り難い話です。同窓会は、大学が旗を振ればすぐに伸びてくれるものではなく、あの集まりに行くと、あいつに会えると云った期待感がないと発展しないと思います。その意味では、一歩、一歩進んで行くしかありません。

皆様方より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

農学部緑友会の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。皆様方には平素から農学部への多大のご支援、ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。さて、世の中は不景気の状態から脱却できないままであり、学生たちの就職活動にも大きな影を落としています。できるだけ早くこのような社会的状況から抜け出ることを願うばかりです。このような状況から、入試においても受

改めてご挨拶申し上げます

農学部長

宇都宮 直樹



験者数の減少が予想されましたが、平成22年度近畿大学農学部に入学を希望する受験者数は昨年度を上回り、近畿大学の中でも人気の学部として認められるようになりました。これもひとえに皆様方のおかげと感謝しております。今後は、入学してきた学生をしっかりとして教育し、不況を乗り越えることのできる能力を身につけさせることに取り組む所存です。

なお、申し遅れましたが、この10月より農学部長として再任されました。これからの2年間全力で学部発展のために努めてまいりたいと思っております。これまで以上にご指導賜りますよう、どうかよろしくお祈り申し上げます。



学科の近況

農業生産科学科

学科長

矢野 栄二



農学部緑友会の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。この10月から農業生産科学科の学科長を拝命しました。微力ですが精一杯務めさせていただきますので、ご指導、ご助言よろしくお祈り申し上げます。

まず先生方の異動につきましてご報告させていただきます。作物資源生産学研究室の准教授として勤務いただいた芦田馨先生がこの3月末で退

職されました。長い間有難うございました。その後任に講師として山根浩二先生が着任されました。作物生理学が専門で作物生産の問題に直接かかわる研究室で気鋭の研究者として今後のご活躍が期待されています。また植物感染制御工学研究室の野々村照雄先生が准教授に昇任されました。ご専門の植物保護の分野における益々のご活躍が期待されます。また今年は農業生産科学科の将来を担う若手教員の先生が海外留学されています。昆虫生態制御学研究室の香取郁夫講師がアメリカ合衆国のアリゾナ大学に3月から9月まで、園芸植物学研究室の神崎真哉講師が9月から来年の3月までの予定でオーストラリアのクイーンズランド州立農業試験場に留学されています。留学の成果を活用した研究の新たな展開に期待が高まっています。

水産学科

学科長

塚正 泰之



平成22年10月から学科長を務めさせていただいております。どうぞよろしくお祈り申し上げます。はじめに、教員の動向についてご紹介します。平成22年3月、40年以上にわたって本学科の教育・研究にご尽力いただいた来田秀雄先生(水族環境学)と水産研究所教授を兼務されていた宮下盛先生(水産増殖学)が定年退職され、宮下先生は水産研究所に移られました。また、畑啓生先生(水産生物学)

が愛媛大学に助教として移られました。同年4月から宮下先生の後任として、滝井健二先生が水産増殖学研究室と水産研究所の教授を兼務されています。新たに採用されたのは、柳下直己先生(水産生物学、講師)と永田恵里奈先生(環境微生物学、助教)です。いずれも30歳代の気鋭の研究者であり、教育の面でもすでに大きな役割を果たされています。特に、永田先生は水産学科初の女性教員であり、本学科に新しい風を吹き込んでもらっています。水産学科は農学部で唯一、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けています。JABEEでは、社会がどのような水産学科卒業生を求めているのかに配慮し、教育内容の継続的な改善・充実を図ることが求められており、全教員が努力しているところです。皆様のご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。最後になりましたが、卒業生の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

卒業生の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



たので、どうぞよろしくお願
い申し上げます。この三月を
もって、樋口先生、里井先生、
大村先生が御退職になりました。
その後任として川西正子
先生（栄養教育学研究室、准
教授）、竹森久美子先生（栄
養機能学研究室、講師）、安
在由記先生（臨床栄養学研究
室、契約助手）が着任されて
おります。また、今年度末で
杉本先生が御定年で退職とな
られます。さらに、来年度に
は村上先生が御定年を迎えら
れます。

卒業生の皆様方には、おかれま
しては、ご清祥のこととお喜
び申し上げます。平素は緑友
会に多大なるご厚誼を賜り心
より厚く御礼申し上げます。
このたび、前任の岸本憲明教
授に代わり、学科長という大
役を引き受けることになりま
した。

世の中では縮小の一途をた
どる大学がある中、幸いにも
本学農学部は他5学科と
ともに年々上昇し、社会的
に高い評価を受けていると実
感されます。それだけに、難
関を勝ち抜いて入学してきた
学生に対して、宣伝に違わぬ
充実した教育と先端的研究環
境を提供する必要性がありま
す。わが学科の教員にはその
義務を十分に果たせるだけの

卒業生の皆様におかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ
の十月からも引き続き、学科
長を拝命することとなりまし

卒業生の皆様元気に活躍さ
れているでしょうか。環境管
理学科が誕生して今年で6年
目になります。昨年の4月に
1期生が、今年の4月に2期
生が社会に出られ、それぞれ
の道で頑張っておられること
と思っております。環境管理
学科は、現代GPの里山修復
事業は終了しましたが、引き
続き生態学的並びに科学的な
見知で里山を保全することを
コンセプトに捉え、日々発展
を続けております。里山学連
続講座の開催も、その活動の
一環です。また、日本だけに
とらわれず、海外にも広く
視野を向けた活動を展開して
おります。学生に対する海外
研修もその活動の一つです。
今年の海外研修は、9月初旬
に22名の学生（2年生）を
2名の教員が引率し、9日間
フィリピンに行っております。
サンゴ礁の観察、マングロー
ブ林での植樹および環境保全
に関連する種々の講義と盛り
沢山の内容で、自然環境保全
の大切さを肌で感じたのでは
ないかと想像いたします。

教員につきましては、現在
6研究室、14名体制（環境生
態・櫻谷、ジン：水圏生態・
細谷、久保、北川：環境化
学・坂上、森：生態工学・若
月、奥村：国際開発・環境・
八丁、松野：環境政策・池上、
前嶋、鶴田）となっております。
（来年度4月1日より、もう
1名の教員が着任予定です。）

卒業生の皆様、如何お過ご
しでしょうか。今年の夏は、
大変な酷暑となりましたが、
奈良は平城遷都1300年祭
が開催され、またキャンパス
では日本農芸化学会関西支部
大会等が行われ、農学部は歴
史や未来を語るのに最適な年
の一つになりました。

本学科では、岡本忠先生が
三月に御退職（現在、名誉教
授）されましたが、お元気に
自宅を中心に公私共多忙な毎
日を過ごしておられます。そ
して四月から新任の川崎努教
授が植物系分野の「分子細胞
工学研究室」に着任されまし
た。40代前半の新進気鋭の先
生で植物免疫の分子機構を解
明する研究のホープです。

学科の学生・院生も昼夜を
問わず、将来の進路に向け、
勉学と社会人基礎力の習得に
励んでおります。卒業生の皆
様も、機会を見て、是非、
Come back to 農
学部として、後輩を激励して
下さい。経済状況は、未だ混
沌としています。今年度は南
アフリカでのサッカー・ワー
ルドカップでの日本選手の活
躍や小惑星イトカワへの探査
機「はやぶさ」の壮大な宇宙

への旅の快挙、さらには日本
人化学者のノーベル賞受賞な
ど元気な日本！と共に卒業生
です。

の皆様のご健勝とご活躍を祈
念し、学科近況報告と致しま
す。

大学院農学研究科の更なる発展を

大学院農学研究科長

河村 幸雄

農学部緑友会会員の皆様に
は、日頃のご活躍とますます
のご発展をお慶び申しあげま
す。また平素は、近畿大学農
学部へ多大なるご協力
をいただき厚く御礼申しあげ
ます。

平成元年度の農学部移転に
伴って開設された奈良キャン
パスにおいて、継続事業によ
る「里山修復プロジェクト」
及び「ものづくり村」の拡充
も進んでおり、自然の中で学
べる好環境となっております。
さて、平成二十二年年度の近
況についてご報告させていただきます。

まず入試関係につきまして
は、平成二十二年の入試結
果データによると前年度に比
べ志願者数が増加し、受験者
数も増加という結果が出てお
り、三年連続の増加となりま
した。従いまして、競争率も

前年度より更に高くなってお
り、本学部の知名度も上昇し
ていると自負しています。

また農学部では、新年度に
向けて動物実験棟の新築工事
を行っており、施設の充実を
図っております。教室棟及び
研究棟のトイレの改修や外壁
塗装なども今後五年計画で工
事を行い、より一層の教育環
境の改善を図りたいと思っ
ております。そして、今年も
一〇月三〇日に附属小学校お
よび幼稚園の児童約一五〇人
がものづくり村において、芋
掘りのイベントを行う予定で
あります。学生たちも楽しみに
しております。

最後に、緑友会会員の皆様
の更なるご活躍とご健康をお
祈りし、今後ともご協力、ご
助言を賜ります様、重ねてお
願い申し上げます。

卒業生の皆様、おかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ
の十月からも引き続き、学科
長を拝命することとなりまし

卒業生の皆様、如何お過ご
しでしょうか。今年の夏は、
大変な酷暑となりましたが、
奈良は平城遷都1300年祭
が開催され、またキャンパス
では日本農芸化学会関西支部
大会等が行われ、農学部は歴
史や未来を語るのに最適な年
の一つになりました。

本学科では、岡本忠先生が
三月に御退職（現在、名誉教
授）されましたが、お元気に
自宅を中心に公私共多忙な毎
日を過ごしておられます。そ
して四月から新任の川崎努教
授が植物系分野の「分子細胞
工学研究室」に着任されまし
た。40代前半の新進気鋭の先
生で植物免疫の分子機構を解
明する研究のホープです。

学科の学生・院生も昼夜を
問わず、将来の進路に向け、
勉学と社会人基礎力の習得に
励んでおります。卒業生の皆
様も、機会を見て、是非、
Come back to 農
学部として、後輩を激励して
下さい。経済状況は、未だ混
沌としています。今年度は南
アフリカでのサッカー・ワー
ルドカップでの日本選手の活
躍や小惑星イトカワへの探査
機「はやぶさ」の壮大な宇宙

への旅の快挙、さらには日本
人化学者のノーベル賞受賞な
ど元気な日本！と共に卒業生
です。

の皆様のご健勝とご活躍を祈
念し、学科近況報告と致しま
す。

大学院農学研究科の更なる発展を

大学院農学研究科長

河村 幸雄

農学部緑友会会員の皆様に
は、日頃のご活躍とますます
のご発展をお慶び申しあげま
す。また平素は、近畿大学農
学部へ多大なるご協力
をいただき厚く御礼申しあげ
ます。

平成元年度の農学部移転に
伴って開設された奈良キャン
パスにおいて、継続事業によ
る「里山修復プロジェクト」
及び「ものづくり村」の拡充
も進んでおり、自然の中で学
べる好環境となっております。
さて、平成二十二年年度の近
況についてご報告させていただきます。

まず入試関係につきまして
は、平成二十二年の入試結
果データによると前年度に比
べ志願者数が増加し、受験者
数も増加という結果が出てお
り、三年連続の増加となりま
した。従いまして、競争率も

前年度より更に高くなってお
り、本学部の知名度も上昇し
ていると自負しています。

また農学部では、新年度に
向けて動物実験棟の新築工事
を行っており、施設の充実を
図っております。教室棟及び
研究棟のトイレの改修や外壁
塗装なども今後五年計画で工
事を行い、より一層の教育環
境の改善を図りたいと思っ
ております。そして、今年も
一〇月三〇日に附属小学校お
よび幼稚園の児童約一五〇人
がものづくり村において、芋
掘りのイベントを行う予定で
あります。学生たちも楽しみに
しております。

最後に、緑友会会員の皆様
の更なるご活躍とご健康をお
祈りし、今後ともご協力、ご
助言を賜ります様、重ねてお
願い申し上げます。

卒業生の皆様、おかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ
の十月からも引き続き、学科
長を拝命することとなりまし

卒業生の皆様、如何お過ご
しでしょうか。今年の夏は、
大変な酷暑となりましたが、
奈良は平城遷都1300年祭
が開催され、またキャンパス
では日本農芸化学会関西支部
大会等が行われ、農学部は歴
史や未来を語るのに最適な年
の一つになりました。

本学科では、岡本忠先生が
三月に御退職（現在、名誉教
授）されましたが、お元気に
自宅を中心に公私共多忙な毎
日を過ごしておられます。そ
して四月から新任の川崎努教
授が植物系分野の「分子細胞
工学研究室」に着任されまし
た。40代前半の新進気鋭の先
生で植物免疫の分子機構を解
明する研究のホープです。

学科の学生・院生も昼夜を
問わず、将来の進路に向け、
勉学と社会人基礎力の習得に
励んでおります。卒業生の皆
様も、機会を見て、是非、
Come back to 農
学部として、後輩を激励して
下さい。経済状況は、未だ混
沌としています。今年度は南
アフリカでのサッカー・ワー
ルドカップでの日本選手の活
躍や小惑星イトカワへの探査
機「はやぶさ」の壮大な宇宙

への旅の快挙、さらには日本
人化学者のノーベル賞受賞な
ど元気な日本！と共に卒業生
です。

の皆様のご健勝とご活躍を祈
念し、学科近況報告と致しま
す。

大学院農学研究科の更なる発展を

大学院農学研究科長

河村 幸雄

農学部緑友会会員の皆様に
は、日頃のご活躍とますます
のご発展をお慶び申しあげま
す。また平素は、近畿大学農
学部へ多大なるご協力
をいただき厚く御礼申しあげ
ます。

平成元年度の農学部移転に
伴って開設された奈良キャン
パスにおいて、継続事業によ
る「里山修復プロジェクト」
及び「ものづくり村」の拡充
も進んでおり、自然の中で学
べる好環境となっております。
さて、平成二十二年年度の近
況についてご報告させていただきます。

まず入試関係につきまして
は、平成二十二年の入試結
果データによると前年度に比
べ志願者数が増加し、受験者
数も増加という結果が出てお
り、三年連続の増加となりま
した。従いまして、競争率も

前年度より更に高くなってお
り、本学部の知名度も上昇し
ていると自負しています。

また農学部では、新年度に
向けて動物実験棟の新築工事
を行っており、施設の充実を
図っております。教室棟及び
研究棟のトイレの改修や外壁
塗装なども今後五年計画で工
事を行い、より一層の教育環
境の改善を図りたいと思っ
ております。そして、今年も
一〇月三〇日に附属小学校お
よび幼稚園の児童約一五〇人
がものづくり村において、芋
掘りのイベントを行う予定で
あります。学生たちも楽しみに
しております。

最後に、緑友会会員の皆様
の更なるご活躍とご健康をお
祈りし、今後ともご協力、ご
助言を賜ります様、重ねてお
願い申し上げます。

卒業生の皆様、おかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ
の十月からも引き続き、学科
長を拝命することとなりまし

卒業生の皆様、如何お過ご
しでしょうか。今年の夏は、
大変な酷暑となりましたが、
奈良は平城遷都1300年祭
が開催され、またキャンパス
では日本農芸化学会関西支部
大会等が行われ、農学部は歴
史や未来を語るのに最適な年
の一つになりました。

本学科では、岡本忠先生が
三月に御退職（現在、名誉教
授）されましたが、お元気に
自宅を中心に公私共多忙な毎
日を過ごしておられます。そ
して四月から新任の川崎努教
授が植物系分野の「分子細胞
工学研究室」に着任されまし
た。40代前半の新進気鋭の先
生で植物免疫の分子機構を解
明する研究のホープです。

学科の学生・院生も昼夜を
問わず、将来の進路に向け、
勉学と社会人基礎力の習得に
励んでおります。卒業生の皆
様も、機会を見て、是非、
Come back to 農
学部として、後輩を激励して
下さい。経済状況は、未だ混
沌としています。今年度は南
アフリカでのサッカー・ワー
ルドカップでの日本選手の活
躍や小惑星イトカワへの探査
機「はやぶさ」の壮大な宇宙

への旅の快挙、さらには日本
人化学者のノーベル賞受賞な
ど元気な日本！と共に卒業生
です。

の皆様のご健勝とご活躍を祈
念し、学科近況報告と致しま
す。

大学院農学研究科の更なる発展を

大学院農学研究科長

河村 幸雄

農学部緑友会会員の皆様に
は、日頃のご活躍とますます
のご発展をお慶び申しあげま
す。また平素は、近畿大学農
学部へ多大なるご協力
をいただき厚く御礼申しあげ
ます。

平成元年度の農学部移転に
伴って開設された奈良キャン
パスにおいて、継続事業によ
る「里山修復プロジェクト」
及び「ものづくり村」の拡充
も進んでおり、自然の中で学
べる好環境となっております。
さて、平成二十二年年度の近
況についてご報告させていただきます。

まず入試関係につきまして
は、平成二十二年の入試結
果データによると前年度に比
べ志願者数が増加し、受験者
数も増加という結果が出てお
り、三年連続の増加となりま
した。従いまして、競争率も

前年度より更に高くなってお
り、本学部の知名度も上昇し
ていると自負しています。

また農学部では、新年度に
向けて動物実験棟の新築工事
を行っており、施設の充実を
図っております。教室棟及び
研究棟のトイレの改修や外壁
塗装なども今後五年計画で工
事を行い、より一層の教育環
境の改善を図りたいと思っ
ております。そして、今年も
一〇月三〇日に附属小学校お
よび幼稚園の児童約一五〇人
がものづくり村において、芋
掘りのイベントを行う予定で
あります。学生たちも楽しみに
しております。

最後に、緑友会会員の皆様
の更なるご活躍とご健康をお
祈りし、今後ともご協力、ご
助言を賜ります様、重ねてお
願い申し上げます。

卒業生の皆様、おかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ
の十月からも引き続き、学科
長を拝命することとなりまし

卒業生の皆様、如何お過ご
しでしょうか。今年の夏は、
大変な酷暑となりましたが、
奈良は平城遷都1300年祭
が開催され、またキャンパス
では日本農芸化学会関西支部
大会等が行われ、農学部は歴
史や未来を語るのに最適な年
の一つになりました。

本学科では、岡本忠先生が
三月に御退職（現在、名誉教
授）されましたが、お元気に
自宅を中心に公私共多忙な毎
日を過ごしておられます。そ
して四月から新任の川崎努教
授が植物系分野の「分子細胞
工学研究室」に着任されまし
た。40代前半の新進気鋭の先
生で植物免疫の分子機構を解
明する研究のホープです。

学科の学生・院生も昼夜を
問わず、将来の進路に向け、
勉学と社会人基礎力の習得に
励んでおります。卒業生の皆
様も、機会を見て、是非、
Come back to 農
学部として、後輩を激励して
下さい。経済状況は、未だ混
沌としています。今年度は南
アフリカでのサッカー・ワー
ルドカップでの日本選手の活
躍や小惑星イトカワへの探査
機「はやぶさ」の壮大な宇宙

への旅の快挙、さらには日本
人化学者のノーベル賞受賞な
ど元気な日本！と共に卒業生
です。

の皆様のご健勝とご活躍を祈
念し、学科近況報告と致しま
す。

大学院農学研究科の更なる発展を

大学院農学研究科長

河村 幸雄

農学部緑友会会員の皆様に
は、日頃のご活躍とますます
のご発展をお慶び申しあげま
す。また平素は、近畿大学農
学部へ多大なるご協力
をいただき厚く御礼申しあげ
ます。

平成元年度の農学部移転に
伴って開設された奈良キャン
パスにおいて、継続事業によ
る「里山修復プロジェクト」
及び「ものづくり村」の拡充
も進んでおり、自然の中で学
べる好環境となっております。
さて、平成二十二年年度の近
況についてご報告させていただきます。

まず入試関係につきまして
は、平成二十二年の入試結
果データによると前年度に比
べ志願者数が増加し、受験者
数も増加という結果が出てお
り、三年連続の増加となりま
した。従いまして、競争率も

前年度より更に高くなってお
り、本学部の知名度も上昇し
ていると自負しています。

また農学部では、新年度に
向けて動物実験棟の新築工事
を行っており、施設の充実を
図っております。教室棟及び
研究棟のトイレの改修や外壁
塗装なども今後五年計画で工
事を行い、より一層の教育環
境の改善を図りたいと思っ
ております。そして、今年も
一〇月三〇日に附属小学校お
よび幼稚園の児童約一五〇人
がものづくり村において、芋
掘りのイベントを行う予定で
あります。学生たちも楽しみに
しております。

最後に、緑友会会員の皆様
の更なるご活躍とご健康をお
祈りし、今後ともご協力、ご
助言を賜ります様、重ねてお
願い申し上げます。

卒業生の皆様、おかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ
の十月からも引き続き、学科
長を拝命することとなりまし

卒業生の皆様、如何お過ご
しでしょうか。今年の夏は、
大変な酷暑となりましたが、
奈良は平城遷都1300年祭
が開催され、またキャンパス
では日本農芸化学会関西支部
大会等が行われ、農学部は歴
史や未来を語るのに最適な年
の一つになりました。

本学科では、岡本忠先生が
三月に御退職（現在、名誉教
授）されましたが、お元気に
自宅を中心に公私共多忙な毎
日を過ごしておられます。そ
して四月から新任の川崎努教
授が植物系分野の「分子細胞
工学研究室」に着任されまし
た。40代前半の新進気鋭の先
生で植物免疫の分子機構を解
明する研究のホープです。

学科の学生・院生も昼夜を
問わず、将来の進路に向け、
勉学と社会人基礎力の習得に
励んでおります。卒業生の皆
様も、機会を見て、是非、
Come back to 農
学部として、後輩を激励して
下さい。経済状況は、未だ混
沌としています。今年度は南
アフリカでのサッカー・ワー
ルドカップでの日本選手の活
躍や小惑星イトカワへの探査
機「はやぶさ」の壮大な宇宙

への旅の快挙、さらには日本
人化学者のノーベル賞受賞な
ど元気な日本！と共に卒業生
です。

の皆様のご健勝とご活躍を祈
念し、学科近況報告と致しま
す。

大学院農学研究科の更なる発展を

大学院農学研究科長

河村 幸雄

農学部緑友会会員の皆様に
は、日頃のご活躍とますます
のご発展をお慶び申しあげま
す。また平素は、近畿大学農
学部へ多大なるご協力
をいただき厚く御礼申しあげ
ます。

平成元年度の農学部移転に
伴って開設された奈良キャン
パスにおいて、継続事業によ
る「里山修復プロジェクト」
及び「ものづくり村」の拡充
も進んでおり、自然の中で学
べる好環境となっております。
さて、平成二十二年年度の近
況についてご報告させていただきます。

まず入試関係につきまして
は、平成二十二年の入試結
果データによると前年度に比
べ志願者数が増加し、受験者
数も増加という結果が出てお
り、三年連続の増加となりま
した。従いまして、競争率も

前年度より更に高くなってお
り、本学部の知名度も上昇し
ていると自負しています。

また農学部では、新年度に
向けて動物実験棟の新築工事
を行っており、施設の充実を
図っております。教室棟及び
研究棟のトイレの改修や外壁
塗装なども今後五年計画で工
事を行い、より一層の教育環
境の改善を図りたいと思っ
ております。そして、今年も
一〇月三〇日に附属小学校お
よび幼稚園の児童約一五〇人
がものづくり村において、芋
掘りのイベントを行う予定で
あります。学生たちも楽しみに
しております。

最後に、緑友会会員の皆様
の更なるご活躍とご健康をお
祈りし、今後ともご協力、ご
助言を賜ります様、重ねてお
願い申し上げます。

卒業生の皆様、おかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ
の十月からも引き続き、学科
長を拝命することとなりまし

卒業生の皆様、如何お過ご
しでしょうか。今年の夏は、
大変な酷暑となりましたが、
奈良は平城遷都1300年祭
が開催され、またキャンパス
では日本農芸化学会関西支部
大会等が行われ、農学部は歴
史や未来を語るのに最適な年
の一つになりました。

本学科では、岡本忠先生が
三月に御退職（現在、名誉教
授）されましたが、お元気に
自宅を中心に公私共多忙な毎
日を過ごしておられます。そ
して四月から新任の川崎努教
授が植物系分野の「分子細胞
工学研究室」に着任されまし
た。40代前半の新進気鋭の先
生で植物免疫の分子機構を解
明する研究のホープです。

学科の学生・院生も昼夜を
問わず、将来の進路に向け、
勉学と社会人基礎力の習得に
励んでおります。卒業生の皆
様も、機会を見て、是非、
Come back to 農
学部として、後輩を激励して
下さい。経済状況は、未だ混
沌としています。今年度は南
アフリカでのサッカー・ワー
ルドカップでの日本選手の活
躍や小惑星イトカワへの探査
機「はやぶさ」の壮大な宇宙

への旅の快挙、さらには日本
人化学者のノーベル賞受賞な
ど元気な日本！と共に卒業生
です。

の皆様のご健勝とご活躍を祈
念し、学科近況報告と致しま
す。

大学院農学研究科の更なる発展を

大学院農学研究科長

河村 幸雄

農学部緑友会会員の皆様に
は、日頃のご活躍とますます
のご発展をお慶び申しあげま
す。また平素は、近畿大学農
学部へ多大なるご協力
をいただき厚く御礼申しあげ
ます。

平成元年度の農学部移転に
伴って開設された奈良キャン
パスにおいて、継続事業によ
る「里山修復プロジェクト」
及び「ものづくり村」の拡充
も進んでおり、自然の中で学
べる好環境となっております。
さて、平成二十二年年度の近
況についてご報告させていただきます。

まず入試関係につきまして
は、平成二十二年の入試結
果データによると前年度に比
べ志願者数が増加し、受験者
数も増加という結果が出てお
り、三年連続の増加となりま
した。従いまして、競争率も

前年度より更に高くなってお
り、本学部の知名度も上昇し
ていると自負しています。

また農学部では、新年度に
向けて動物実験棟の新築工事
を行っており、施設の充実を
図っております。教室棟及び
研究棟のトイレの改修や外壁
塗装なども今後五年計画で工
事を行い、より一層の教育環
境の改善を図りたいと思っ
ております。そして、今年も
一〇月三〇日に附属小学校お
よび幼稚園の児童約一五〇人
がものづくり村において、芋
掘りのイベントを行う予定で
あります。学生たちも楽しみに
しております。

最後に、緑友会会員の皆様
の更なるご活躍とご健康をお
祈りし、今後ともご協力、ご
助言を賜ります様、重ねてお
願い申し上げます。

卒業生の皆様、おかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ
の十月からも引き続き、学科
長を拝命することとなりまし

卒業生の皆様、如何お過ご
しでしょうか。今年の夏は、
大変な酷暑となりましたが、
奈良は平城遷都1300年祭
が開催され、またキャンパス
では日本農芸化学会関西支部
大会等が行われ、農学部は歴
史や未来を語るのに最適な年
の一つになりました。

本学科では、岡本忠先生が
三月に御退職（現在、名誉教
授）されましたが、お元気に
自宅を中心に公私共多忙な毎
日を過ごしておられます。そ
して四月から新任の川崎努教
授が植物系分野の「分子細胞
工学研究室」に着任されまし
た。40代前半の新進気鋭の先
生で植物免疫の分子機構を解
明する研究のホープです。

学科の学生・院生も昼夜を
問わず、将来の進路に向け、
勉学と社会人基礎力の習得に
励んでおります。卒業生の皆
様も、機会を見て、是非、
Come back to 農
学部として、後輩を激励して
下さい。経済状況は、未だ混
沌としています。今年度は南
アフリカでのサッカー・ワー
ルドカップでの日本選手の活
躍や小惑星イトカワへの探査
機「はやぶさ」の壮大な宇宙

への旅の快挙、さらには日本
人化学者のノーベル賞受賞な
ど元気な日本！と共に卒業生
です。

の皆様のご健勝とご活躍を祈
念し、学科近況報告と致しま
す。

大学院農学研究科の更なる発展を

大学院農学研究科長

河村 幸雄

農学部緑友会会員の皆様に
は、日頃のご活躍とますます
のご発展をお慶び申しあげま
す。また平素は、近畿大学農
学部へ多大なるご協力
をいただき厚く御礼申しあげ
ます。

平成元年度の農学部移転に
伴って開設された奈良キャン
パスにおいて、継続事業によ
る「里山修復プロジェクト」
及び「ものづくり村」の拡充
も進んでおり、自然の中で学
べる好環境となっております。
さて、平成二十二年年度の近
況についてご報告させていただきます。

まず入試関係につきまして
は、平成二十二年の入試結
果データによると前年度に比
べ志願者数が増加し、受験者
数も増加という結果が出てお
り、三年連続の増加となりま
した。従いまして、競争率も

前年度より更に高くなってお
り、本学部の知名度も上昇し
ていると自負しています。

また農学部では、新年度に
向けて動物実験棟の新築工事
を行っており、施設の充実を
図っております。教室棟及び
研究棟のトイレの改修や外壁
塗装なども今後五年計画で工
事を行い、より一層の教育環
境の改善を図りたいと思っ
ております。そして、今年も
一〇月三〇日に附属小学校お
よび幼稚園の児童約一五〇人
がものづくり村において、芋
掘りのイベントを行う予定で
あります。学生たちも楽しみに
しております。

最後に、緑友会会員の皆様
の更なるご活躍とご健康をお
祈りし、今後ともご協力、ご
助言を賜ります様、重ねてお
願い申し上げます。

卒業生の皆様、おかれまし
ては、ご健勝で、ご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。さ
ら、村上先生より学科長を引
き継ぎ二年が経ちました。こ

講師
山根
浩一

水産学科 水産生物学研究室
講師 柳下 直己

本年4月より環境管理学

新

食品栄養学科 栄養教育学研究室
准教授 川西 正子

教授 川崎 勉
バイオサイエンス学科 分子細胞工学研究室

前農業生産科学科准教授

く思っております。苦勞して一緒に卒論を仕上げたことや、フィールドでの調査で寢食を共にした事などが思い起こされます。

退職後は、長年にわたり釣り組んできた藻場造成、ならびに、河川において天然アユのための餌（付着藻類）づくり基盤設置等を公的機関に

企画、提案し、これらの事業化のために数社の企業と共に取り組んでおります。

緑友会ならびに農学部の方々のご発展をお祈りいたしております。

前任のご挨拶
前食品栄養学科教授
樋口 寿

緑友会会員の皆様には益々
ご清祥のこととお慶び申し上

本年3月末に農学部を退職後、小さな畑で野菜の有機栽培と無農薬に取り組んでいますが、畑が農学部のキャンパスに負けないくらい山の中な

どが畑で夜な夜な運動会を開催してくれます。最近、害獣の忌避植物を採ってはそ

効果を試したり、彼らとの知恵比べの毎日を楽しく感じています。以前は畑を荒らされるととても腹が立ったものですが、今気持ちに余裕が持てるようになったのも、教員生活最後の4年間を近大農学部

てたかと嬉しい気持ちで一杯です。卒業生諸君が益々力を

職を迎えました。その反省と

つけていただいて、社会を支

え、リードされますようお願いしています。

本学の建学の精神は現在の社会の求めにびったり一致していますし、農学部には将来につながる発展要素があります。今後の学部の輝ける発展を楽しみにしています。受け身になり、してもらうことに重きを置かず、すること、してやること、攻めることを重

視する日々を送っていたく
よう願っています。私もその

前バイオサイエンス学科教授
岡本 忠

ています。
終りに今日を無事迎えるに

あたりお世話になりました
皆様を重ねて感謝致します

2010年4月より農学部
に教養・基礎教育部門が開設

教員4名の氏名を紹介させ
されました。

(主任)

三浦	良邦	教授
トーマス	C. C. ツク	准教授
西垣	佐里	特任講師
橋本	健一	特任講師



契約助手・食品栄養学科
(臨床栄養学)



新入生の夢

夢探し

農業生産学科 一回生
山下 裕子

「夢」といえば、小さい頃は「ケーキ屋さんやお花屋さんになりたい。」というような女の子なら一度は思うようなものでした。

小学生、中学生になって、職業体験をする機会があり、その時初めて自分は何をしたらよいのかを考えました。私は、人の髪の毛を触ったり、切ったりするのを見るのが好きで、少し美容師に憧れていたので、美容室に行くことにしました。そして、体験をしてみるととても楽しく、美容師にもっと興味を持ち、私の「夢」はいつの間にか美容師

になっていました。でも、本当にその道に進むことを考え、想像してみると不安で、学んでいく勇氣はなく、諦めてしまいました。

そして、普通に進学をしていたら何か見つかるかと思いき、高校進学をし、大学の進路の時に、また、将来何をしたいのかを考えました。しかし、はっきりとした答えは出ず、私の家が農家なので、とりあえず育てることは興味があり、食べ物についてなら学ぶのも楽しいだろうと思い、今に至ります。

今まで、私には「夢」はありませんが、今からでも、ゆつくり、しっかりとした「夢」を探していきたいです。まずは、本当に自分がしたい

決意

水産学科 一回生
和久田 真史

ことを見つけていければいいなと思っています。

大学に入ってもう3カ月がたとうとしています。今思うと大学に入るときには自分にはいろいろな夢がありました。私には正直このまま自分の夢が夢のままで終わってしまふのかそれとも叶うのか、まだ分かりません。しかし夢がかなうかどうかは今の日々の自分の行動しだいだと思います。私はまだ近畿大学農学部水産学科に入って3カ月という日々しかたっておりませんが、大学生生活には自分の持てる時間の多さを感じています。その時間をどう使うかが、とても大事だと思っています。

その時間を勉強、部活、サークル、バイトと、何に使うかは自由です。しかしその時間を自分の興味のあることに費やすことが結果的に自分にプラスになるのではないかと私は思います。大学は今までの学生生活と違い、やらされる勉強ではなく自分の求める学習を学べる機会です。ですから私はここで1つ「積極的になる」という決意をたてようと思います。自分の学びたいことを学ぶという事は自分で様々な物をつかまえていくという事です。大学では自分で学ぶための多種多様な機会があります。そのような機会をまだ1年生だからいいやとか思うのではなく、その1つ1つを大切にして自分のものにしていきたいです。

自分はまだ大学に入り駆け出しですが、そんな時こそ何事にも興味をもち積極的に参加するという気持ちが大切なので、自分自身を意味あるものとしていきたいです。

しかし、すべてを頑張ろうとすると途中で息切れしてしまうもので、適度に休息をいれ大学を楽しみ、人間関係も大切にして、仲間と切磋琢磨して夢を実現できる大学生活にしたいです。

「私の夢」

応用生命化学科 一回生
佐藤 弥生

私は、将来どのような企業でどのようなことをしたい、といったことについて、まだはっきりとは決まっています。この農学部に入学したのも、単純に自分の興味のあることについて学びたいと思ったからです。しかし実際に入学してみると、思っていた以上の新しいこととの出会いがありました。例えば、私にとって新鮮だったのが微生物でした。目には見えない微生物のあらゆる所や人間では存在し得ない特殊な環境に存在すること、そしてその働きや応用などを知り、とても興味を持ちました。また、農学部では地球環境について考える機会が多いので、そういったことについても意識するようになったりもしました。地球温暖化などの問題が進んできた今、もっといろいろなことを学んで視野を広げ、その中でやりたいことを見つけて社会に役立てていきたいと思っています。これから後期に入り実験も始まるのでとても楽しみにしています。また入学してから、勉強だけでなく、新しい人との出会いも新鮮でした。高校とは全く違う大学という環境で、友人や先輩などたくさんの人と出会うことができました。その中でいろいろな考えを聞いて知ることが、私自身も成長できると思っています。これからも周りの人々から、講義から、あらゆる

私の夢

食品栄養学科 一回生
福田 真弓

る場面でたくさんの方の影響を受けて吸収し、また自身も努力すること、この大学生生活を将来の私にないでいきたいと思っています。

小さい頃からたくさんの方の夢を持っていました。ケーキ屋やお菓子屋さん、どれも女の子がなりたそうな夢ばかりです。もともと食べるのが好きな私はどの夢にも食べ物のことが絡んでいました。そんな中で栄養の方面に進学を決めたのは雑学のテレビ番組で食べ物の組み合わせで相乗・相殺効果があるということを知ったからです。それからというもの、栄養に関して興味が出てきました。一世を風靡したバナナブームの時はバナナのどういったものが人体に利点があるのか気になりました。バナナだけでなく、他にも人体に良いもの悪いものがあるのではないかとそれを知りたい。そして栄養の知識を身につけ、他の人の健康を支えていきたい。そこで私は食品栄養学科への進学を決めました。大学に入学するまではその夢も叶うかどうか分からなかったのですが、気持の面においてふらふらしていた時期もありましたが、食品栄養学科に入学でき、これから先はその夢へと一直線に進むだけです。やると決めたからには最後までやり通すことが私の信念です。どんなに辛いことや悲しいことがあってもそれに打ち勝つぐらいの勢いでいきます。半端な気持ちで来たわけではありません。また、たくさんの方の事に挑戦して学んでいきたいです。

大学生生活の4年間はとても早いと感じました。せっかく夢への第一歩を踏み出したのです、一日一日を大切にしないでは一日の一秒一秒を大切に、後悔しない大学生生活を送りたいです。

環境管理学科と私

環境管理学科 一回生
中村 あづ紗

私は始め、研究者になって生物のことを研究し、世の中のためになるもの、環境に優しいものを発明したりする人になりたいと思っていました。しかし私は、高校に入ってから環境問題に興味を持ち始めてから、環境問題を改善していくには、研究室にただ籠って研究をしているだけではだめなのだと思うようになりました。環境問題を考えるだけでなく、自分の目で見て触れて感じることも大切なのだと思いました。自然から学ぶことも大切なのだと。そして、それは人の心を豊かにもしてくれます。

私は、環境問題を改善していくには、まず人の心が変わらなければならぬと思います。人々がもっと自然を身近に感じ、自然を愛することが、この忙しい社会には必要だと思っています。また、私は田舎の過疎化をどうにかしたいと思っています。このまま、どんどん過疎化が進んでしまえば、その土地での伝統、風景はどうなってしまうのだろうと危機感を感じました。田舎の過疎化によって耕作放棄地が増えることによって、生物の多様性も失われていきます。私は大学に入って研究ばかりではなく、フィールドワークもしたいと思っています。そんな時に、フィールドワークも大切に行っている近畿大学の環境管理学科を知り、ここで学びたいと思いました。

今私は大学に入って、環境に対する熱い思いを持った先輩、友達に出会えて本当に幸せに感じています。そして私もみんなに負けないように、この近畿大学で充実した大学生活を送りたいです。



生活がおくれるようがんばりたいです。

新入生の夢

バイオサイエンス学科 一回生
小林 謙吾

私が志望校を近畿大学農学部に進路を絞った理由は、中学生のころから抱いていた夢があったからです。その夢は、環境問題と食糧問題を解決出来る植物を品種改良したり遺伝子組換え技術を用いて作り出すことです。特に環境問題では、今迫りつつある砂漠化に耐えうるような植物に関する研究を、していきたいと考えています。なぜこういった夢に向かって進もうと決めたかというと、中学生の頃の社会の資料集を読んでいて、満足に食べる事が出来ず飢えて苦しんでいる人を少しでも減らしたい、そして砂漠のような植物が育ちにくいところ

も育つ穀物を作りたいと強く考えるようになったからです。農業システムの改善や塩害の改善などの観点から、食料問題や砂漠化の対策などがありますが、それを一手に解決出来るかもしれないのは植物自体に改良を重ねることだと思いました。バイオサイエンス学科を選びました。この夢を達成していくのは果てしない事だとは思いますが、それでも、中学・高校から確実に進んでいると思うので大学も出る限り夢に近づけるように努力を重ねていきます。大学院進学が就職はまだ悩んでいます。大学院進学するにあたっては、より研究を追及していけるような学力と研究を深めるための知識の習得、就職を考えていくなら、海外ボランティアを認めている企業の選択を考えています。そのために1回生で出来る勉学に励んでいきたいと思っています。

卒業生 だより & 職場紹介

全ては日本の農業のために
農学生産科学専攻(平成20年度卒)
段上 輝之

農学部で育種工学研究室に在籍して、シイタケに関する実験をしていたのが2年前。もう2年も経ったのかという気持ちと、そういえばまだ2年しか経ってないのかという気持ちと半々といったところです。

学生時代にシイタケの実験をしていた私が就職したのは「ナント種苗株」です。シイタケの実験をしていたのに、なぜ種苗会社に就職したの？と思われるかもしれませんが、実は植物を育てることが元々好きで、趣味で盆栽をしていました。植物を育てることが好きだったこと、就職活動を通じて、農業が儲かるようにならないかと思ったりから、「農家の方が儲かった」と言っている品種を世に送り出そうという当社の社長の言葉を受け、「ナント種苗株」に就職を決めたわけです。

当社は、営業部・生産部・研究開発部の3つの部署に分かれています。営業部は国内市場、海外市場への種子販売・通信販売などを行う部署です。生産部は商品となる種

子の生産・品質管理などを行う部署、研究開発部は販売する商品である「種子」の品種を創る部署になります。

私は最後に紹介しました研究開発部の育種課に所属しています。育種課では、ある系統(母親)とある系統(父親)を

かけ合わせたF1種子(子供)を創り、実際に栽培して、どんな特徴があるのかを調べたり、今ある品種を栽培して比較したりといったことをしています。そこで選ばれたF1種子が、めでたく新品種となって世に出ていきます。

「新品種を創る」という仕事は一朝一夕で出来るとは思いませんが、いつか農家の方々に「儲かった」と言ってもらえる品種を創って、この文章を読んで頂いている皆様の食卓に私が創った品種の野菜が並ぶことを目指して、仕事を頑張っていきたいと思っています。

食品の品質管理職

水産学科(平成14年度卒)
前田 理絵

私は大学時代、水族環境研究室に所属し、思い出っばいの厳しくも楽しい研究生活を送りました。卒業後、おかげさまで、学んだことを生かせる職業に就くことができ、食品会社の品質管理職を2社経験しました。

1社目は、大阪の台所と言われる黒門市場の和食惣菜を扱う会社で、約7年間、細菌検査、工場衛生、クレーム対

応などの仕事に従事しました。偶然、会社がこれから新しく品質管理室を立ち上げるところだったことから、一から作り上げ、責任ある仕事を任せてもらう事が出来、良い経験になりました。市場の伝統ある会社だったため、品質管理の仕事だけでなく、地域のお祭では、みこしを担いだり、夜店に出店したり、地元文化に触れる事ができる楽しい会社でした。1社目は退職することとなりましたが、研究室の後輩が業務を引継いでくれ、今でも、その後の部署の発展を聞くことができ、嬉しい限りです。研究室の縁に感謝です。

2社目は、会社が設立してまだ7年の若い、急成長する洋菓子の会社です。上海出店など、海外進出を進めており、私自身も中国へ行き、経済成長の著しい、上海の空気を肌で感じてきました。販路が広がることは夢がありワクワクしますが、品質管理の面では緊張と責任が高まります。国内でも、全国に出店を進めており、各所で安全、安心な商品であることが求められます。しかし、今年の夏は暑かったですね。国際化、温暖化など、これからの様々な変化に対応できるよう気合を入れています。

「先生になって本当によかった」奈良県立吉野高等学校(平成21年度卒)応用生命化学専攻(平成21年度卒)中村 貴俊

高校理科の先生として教壇に立つてもう半年が過ぎようとしており、「中村先生」と呼ばれることにも徐々に慣れてきました。先生は人に教えるという仕事が仕事なのですが、生徒から教えてもらうことが非常に多く、毎日勉強三昧の日々を過ごしています。現在、私が勤めている高校は、県内でも学習や生徒指導

の面でしんどい学校といわれています。最初の授業は悲惨なもので、授業を始めてもほとんどの生徒が聞く耳を持ってくれない、1人で喋っている感じで、非常に落ち込んだことを思い出します。そのような状況を打開するために、先生方に相談に乗って頂いたり、子どもたちの興味を引くような話題を考えたりして自分なりに授業の改善を重ねました。その結果が現れたのか、1学期末の授業アンケートに「中学の時は大嫌いだったけど、先生の授業をうけて理科が好きになった」という言葉を見つめました。努力が報われたことは嬉しかったのですが、何よりも、子どもたちの成長を感じられたのが本当に嬉しいことでした。

最近の子どもたちには、どこか「寂しさ」を感じることがあります。ピアスや毛染めなど外見を無茶苦茶にしたり、さらに非行行為に走ったりしてしまっているのは、心が弱い、自分を強く見せようとしているためではないでしょうか。しかしながら、そのような非行行為は絶対に許されるものではありません。それを教えてあげるのが先生の役割であり、また、高校は社会のルールなどを教えてあげられる「最後の教育機関」だと思っています。子どもたちに居場所を与えてあげるため、社会に貢献できるような人間を養うため、これからも全力で走り続けたいと思っています。

一層の高度な専門知識や技術が求められています。今年は新たに日本糖尿病療養指導士の資格を取得しました。これからも大学生活で学んだ知識をより磨き上げ患者様の健康増進に貢献していきたいと考えております。

鉛と始める社会人生活

環境管理学科(平成21年度卒)
田中 晶子

平成22年に農学部を卒業後、株式会社扇雀鉛本舗に就職しました。弊社は主にキャンデーを製造しているメーカーです。スーパーマーケットやコンビニエンスストアで弊社商品を見かけられたことがありますが、向うに必要です。そのためには調理法に加えその患者様の身体、精神の状態を把握し、また信頼関係を築くことで喫食率の上昇に繋がることを積極的に病棟への訪問を心掛けています。

平成18年度の診療報酬改定で栄養管理実施加算が、また今年度からは栄養サポートチーム加算が新設され、栄養管理が医学・医療の一端を担うものとして認知され注目をされている中、管理栄養士は医療チームの一員としてより

できる、次は姫路市にある工場でライン試作を行い、テーブル試作品と味や色とといった点で差がないかを確認します。思ったような味や色ではなかった場合は、納得できるものが出来上がるまで、テーブル試作とライン試作を繰り返して行きます。最後にデザイン部門の担当者がデザインした包材でキャンデーを包装すると製品の完成です。自分が担当した商品を製品という形で初めて手にしたときは、言葉では表せないほど感動しました。商品が出来上がるまでは大変な思いをすることも多く、発売されても自分の名前が表にでることはありません。しかし、自分の作った商品が店頭で並ぶという感動はこの仕事ならではの楽しみです。これからもこの感動を忘れず、誇りを持って今の仕事を頑張っていきたいと思っています。

開発の業務を通して

環境管理学科専攻(平成20年度卒)
高田 輝

平成22年に農学部を卒業後、株式会社扇雀鉛本舗に就職しました。弊社は主にキャンデーを製造しているメーカーです。スーパーマーケットやコンビニエンスストアで弊社商品を見かけられたことがありますが、向うに必要です。そのためには調理法に加えその患者様の身体、精神の状態を把握し、また信頼関係を築くことで喫食率の上昇に繋がることを積極的に病棟への訪問を心掛けています。

平成20年度に卒業し、早2年が経とうとしています。環境管理学を専攻し研究に取り組んでいた日々が懐かし思い出されます。私は学生時代より人々の健康に貢献したいと考えており、健康生活を経営理念とする森下仁丹株式会社に就職し、現在は研究開発本部のカプセル開発部に配属され、カプセル製剤についての開発業務に取り組んでいます。

物理由来の寒天やデンプンなど各種の天然ゲル化剤を用いることができ、耐熱性や耐酸性といった様々な特性を皮膜に付与することも可能で、組み合わせや新規の材料でもっとも色んな機能を持ったカプセル製剤ができるのではないかと夢を見て日々励んでいます。また、これまでラボレベルで行っていた製剤検討を生産前には製造工場で量産のテストも行います。量産テストでは設備や人が大掛かりな分、失敗のないよう入念に準備しても、もちろんいつも100%が実験室でのデータ通りに進むというものはないので、その違いや、うまくいったところ・いかなかったところをしっかりと意識し、次に活かすことを心掛けて行っています。弊社での開発業務は担当者あるいは担当チームが最初から最後まで受け持つということに私は大きなやり甲斐を感じています。

私の日々

ジエールサイエンス株式会社(営業課)
バイオサイエンス学科(平成20年度卒)
大西 勝也

私は、近畿大学農学部バイオサイエンス学科バイオ分子化学研究室を卒業後、ジエールサイエンス株式会社の営業職に従事しております。仕事の内容は、主に分析機器(液体クロマトグラフィーやガスクロマトグラフィーな

ど)の販売を行っています。実際に在学中にこれらの装置を扱ったことがあるかといいますが、答えはノーです。仕事を始めるにあたって1からのスタートでした。しかし、会社での研修や実際にお客様の分析を見せて頂いたり、時には逆に教えて頂いたりして、日々学習しております。



現在、私は近畿大学医学部奈良病院で管理栄養士として勤務しております。私は幼い頃は身体が弱く入退院を繰り返していたこともあり、栄養



私は、近畿大学農学部バイオサイエンス学科バイオ分子化学研究室を卒業後、ジエールサイエンス株式会社の営業職に従事しております。仕事の内容は、主に分析機器(液体クロマトグラフィーやガスクロマトグラフィーな

働きことは簡単なことではありません。でも、難しいことでも無いのです。自分の出来る事をしっかりと見極め、出来ないことは素直に謝り手伝わってもらう。この事がもっとも大事だと私は思っています。最後になりましたが、4年間学ばせて、また、教えていただきました近畿大学農学部と先生方には感謝しております。ありがとうございました。

在学学生だより

大学生活で得たこと

農業生産科学科
園芸植物学研究室四回生
川合 良典

私は平成19年にこの近畿大

学農学部農業生産科学科に入
学しました。初めはどんなク
ラブやサークルがあるのだろ
うかとワクワクしていました。
しかし農学部には13個のクラ
ブと少しのサークルしかあり
ませんでした。その中で一番
楽しそうに見えたサイクリン
グ部に入ることになりました。
始めは軽い気持ちで入部した
けれど、すぐにそんな気持ち
はなくなりました。夏休みに
は北陸に合宿に行ったりして
ほとんどサイクリング部が楽
しくなっていました。

2年生になるとほとんどの
行事などは2年生が中心に
なつてやらなければいけなく
なります。1年生の間は単純
に楽しんでいただけ、2年
生になってからは後輩を楽し
ませるために、いろいろなこ
とを計画し仲間と話し合いま
した。時には仲間と言いが合

こともあり先輩からも厳しい
ことも言われましたが、そう
やって行くうちにどんどん仲
間の関係も深くなつていき
ました。

充実した学生生活

水産学科
水産生物学研究室四回生
義本 夏君

私は平成19



年に近畿大
学農学部水産学
科に入部しま
した。最初は
水産学に興味
があつたわけ
ではなく、水
産学科は珍し
いと思ひこの
学校を選びま
した。しかし、
魚類関係の専
門分野を学ん
でいくうちに
魚類発生学に
興味を持ちま
した。そこで

学生生活から社会へ

応用生命科学科
応用細胞生物学研究室四回生
坂口 亮太

大学生になり早くも3年

が過ぎました。今思い返すと
あつという間でした。そして
就職活動も無事に終えること
ができ、山崎製パン(株) か
ら内定をもらえることができ
ました。就職活動を成功する
ためには、しっかりと情報の
アンテナを張っておくことが
大切だと感じました。また
チャレンジ精神を持って、失
敗を恐れないこと、面接では
笑顔を保つこと、面接では
など、など大切なポイントで
はないかと思っています。

自分の選んだ道、選ぶ道

食品栄養学科
栄養機能学研究室四回生
直江 香織

大学生活も早いもので残り

やっと定まった目標

環境管理学科
水圏生態学研究室三回生
松本 菜摘

なんとなくこの大学に入

大学生活四年間を振り返って

バイオサイエンス学科
動物発生工学研究室四回生
大島 一輝

4年生になって、これまで

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

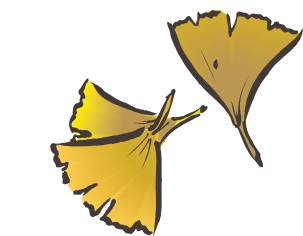
自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと

自分の進む道

自分から求めたいこと



研究室は「水産生物学研究
室」に入りました。研究室に
入って初めて魚を飼育し、飼
育環境によって魚が病気になる
などとして、魚の扱いは難し
いと思いました。また、実験
器具を自分で作ったり、魚に
ホルモン注射して採卵したり、
魚から卵と精子を絞って人工
授精したりと初めてのことがば
かりでとても驚きました。な
かでも一番驚いたのは、緑色
蛍光タンパク質のmRNAを
ホンモロコの卵にマイクロロ
インジェクションして卵が光つ
たことです。最初は研究をき
ちんと進めていくことができ
るかと不安でしたが、先
生や先輩がとても丁寧に教え
てくれるので順調に研究を進
めています。研究室はとても
和気あいあいとしていて、毎
日楽しく研究しています。ま
た勉強以外では「テニス同好
会ケビン」に所属し、ほぼ毎
日授業終わりにテニスの練習
に参加していました。テニス
だけでなく、B B Q やスノ
ボー合宿などいろいろな行事
がありました。とても人数の
多い同好会なのですがみんな
仲が良く、友達がたくさん
楽しい思い出を作ることがで
きました。勉強もそれ以外も
とても充実した学生生活を
送っています。

自分生活から社会へ
感謝の念を忘れずに社会に出
ても頑張っていきたいと思
います。

自分の選んだ道、選ぶ道
大学生活も早いもので残り
わずかとなくなりました。地元
(金沢)を離れ生活する準備
を慌しくしたことがつい最近
のことのように思い出されま
す。私の第一志望は近畿大学
ではありませんでしたが、結
局入学することを選びました。
四回生になり、研究室に配
属され研究と国家試験の両立
という多忙な日々が始まりま
したが、この四年間の中で一
番充実していると感じること
ができます。研究では、新し
いことを知るたびにまた興味
がわいてくるという連続です。
細胞は種々のストレスを受け
た際、様々なストレス応答性
タンパク質を産生し、その生
体機能の恒常性を維持します
が、その詳細なメカニズムや
細胞間の応答性の差異などに
ついて解析しています。



あなたの企業のお手伝い
photo shop **イナダカメラ**
21世紀へ
ニューメディア
プリント

服部川店 八尾市服部川7丁目56
TEL 0729 (41) 0909 / FAX 0729 (41) 0934
携帯 09037290909
今里店 大阪市東成区大今里4丁目21-18
TEL / FAX 06 (6974) 0919
代表者 稲田 忠明(農学科 昭和43年度卒)

以外でもずっと一緒にいたの
で、2回生の後半ぐらいから
は友達に会うために学校に
行っていたように思います。
また、授業の空き時間や、昼
ご飯のときの他愛もない会話
でも笑えるぐらいのしかつ
たので、多くの学生生活はと
ても楽しく、忘れられない時
間となりました。友達にはと
ても感謝しています。

今は、動物発生工学研究室
に所属しています。ほかがこ
の研究室を志望した理由は、
高校生の頃から動物発生学に
興味を持ち始め、大学の授業
で、この研究室では移植技術
でいききたいと思っています。

術によるクローン動物の作出
を行っている事を知り、もつ
とこの分野について知りたい
、そして実際にやってみたく
い、思うようになり、この研究
室に決めました。実際に実験
が始まると、朝から晩まで学
校にいるので最初は大変です
が、毎日実験していると技術
の向上が分るので楽しくな
ります。また高度な実験で結
果が出た時は達成感でいっぱい
になります。しかし研究室の先
輩方に比べたらまだまだ足元
を磨いて、夢に向かって進ん
でいききたいと思っています。

大学院生 だより

大学院での生活

農業生産科学専攻 園芸植物学研究室
辻 俊彦

私は今年4月から大学院に進学しました。大学は近畿大学理工学部応用化学科を卒業しました。応用化学科の大学院に行かず、この研究室に進学した理由は、とても些細なこと、大学生活中に知り合

いから真つ赤なマンゴーをもらい、食べた際に香りが非常によく、とてもおいしいと思います。それからマンゴーについて非常に興味を持った事です。その後は個人的に園芸植物学を勉強し、進学しました。現在はマンゴー果実の香り成分の品種間差異について研究を行っています。また、収穫時期が夏期であるマンゴーを、収穫時期をずらし冬場に収穫するための実験等も行っています。マンゴーの栽培は、奈良キャンパスと和歌山の湯浅農場において行っています。マンゴーの成長を毎日観察しているうちに、色々興味のあること、面白いことが発見でき、毎日有意義に過ごしています。また、様々な品種のマンゴーを収穫し、それぞれの味を比較することも楽しみの一つです。大学院における授業は、物事に積極的に取り組み、また質疑応答能力をより向上できるように積極的に取り組んでいます。現在、入学してから約半年が過ぎようとしています。1日が過ぎるのが非常に早く感じています。卒業したときに後悔のないように、しっかりと目標を定め、良い結果に辿り着けるように日々精進したいと思っています。

琵琶湖固有種ピワマスを追う

水産学専攻 漁業生態システム研究室
神村 裕之

海や湖のような水中で生物の行動を観察することは非常に難しいことです。近年バイオテレメトリー技術が発展し、水中で生活する生物たちの行動や生態に関する情報を遠隔的に計測することができるようになってきました。

私は、この様な生物の行動情報を得ることが出来る技術に大変興味を持ち、謎が多いピワマスに活用できないかと考え、4年生から琵琶湖湖に生息するこのピワマスの行動生態について研究しています。ピワマスは琵琶湖にしか生息しないサケ科の魚類で、琵琶湖に流入する河川で生まれ、琵琶湖に降湖して成長し、再び産卵のために河川へ遡上します。しかし、彼らが琵琶湖に下った後、いつ、どこで、どんな水深、水温の水域で生活しているのかといった行動生態は全く明らかになっていません。ピワマスはとても美しく美味い魚であり重要な漁獲対象魚ですが、2007年より環境省レッドリスト準絶滅危惧種に登録されました。

大学院に進学して

応用生命化学専攻 森林生物化学研究室
田坂 龍

先にご紹介したバイオテレメトリー技術とは超音波発信機やデータロガーと呼ばれる小型記録計を生物に装着して、その魚が経験した水深、水温や時には魚が泳いだときの姿勢や運動状態までも記録できる最新の遠隔計測技術のこと、世界中の様々な水生生物の行動情報を計測するために最近急速に応用され始めています。

今年から修士課程に進学した私は、6月には21尾のピワマスの腹腔内に超音波発信機と小型記録計を挿入し放流する実験を行いました。発信機から発信されるデータは北湖

に設置した16台の受信機で自動的に受信され、謎に包まれたピワマスの行動が徐々に解明されはじめています。記録計を装着した魚はそれを再び回収する必要があります。そのためにはボスターで漁業者や一般の人々と呼びかけ、再捕の連絡を待つことになりま

す。発信機によって得られる行動情報よりも記録計で取得できる行動情報は質的に非常に高いものがあるため、一尾でも多くのピワマスの再捕を待ち望んでいます。そう簡単に捕まえることはできません。それだけに、再捕の連絡を受けたときは何にも代え難い喜びと興奮があります。こうして、ピワマスの行動生態を明らかにすることで、いつ、どこで、どの程度漁獲すべきなのか、またどのように彼らを保護していくべきかを明らかにして、貴重なピワマス資源の持続的利用に繋げていくことを目指しています。ピワマスをこれからも美味しく食べ続けることができるように、ピワマスを獲る漁業者の方々にも役立つ研究を続けていこうと思っています。

分岐点

応用生命化学専攻 栄養機能学研究室
上西 梢

院生活が始まってまだまだ日は浅いですが、卒業するときには自分の進学の選択は間違っ

た大学院生活を送りたいと思っています。私は、農学部食品栄養学科を卒業し、現在は応用生命化学専攻・栄養機能学研究室に所属しています。大学四回生になるまでは、管理栄養士として就職し社会人となることだけで、大学院への進学を考えたことはありませんでした。しかし卒業研究では、講義の詰め込み教育とは異なった、新たなことに挑戦する楽しさや物事を深く考えていくことの重要性に気付きました。一年間の研究室での生活で、自らが確実に成長できているということを実感しました。そこで、もうひと回り成長したいと考え、大学院への進学を決定しました。ところが、両親からは、猛反対を受けました。私の説得と先生方の助力

『水産から環境』

環境管理科学専攻 水圏生態学研究室
北川 哲郎

のかけにより、進学への理解を示してくれました。今では、私が大学院生として頑張っていることを応援してくれています。現在は、卒業研究テーマ「胎生期の低栄養暴露による耐糖能異常とその予防について」をさらに推し進めています。また、大学院で

私は現在、希少淡水魚の人工繁殖に関する研究を行っています。人工繁殖というと養殖業のイメージが強いかもしれませんが、私が研究している魚種は水産学的にはまるきり価値のないものばかりです。近畿大学入学以前、私は水産高校に在籍し、専攻課程を含めて5年間にわたって水産増殖学を専攻していました。高校時代にはマダイやトラフグといった海面養殖の技術を学び、単純に養殖業界への就職を考えていました。しかし、専攻課程へ進んで外来生物問題などを知るにつれ、水産学科とは違った場所から魚類学に触れてみたいという思いがつのるようになり、近畿大学環境管理学科へ進学しました。環境管理学科で触れた魚類学は生態系を構成する幅広い種を対象としており、水産有用種に絞られがちであった水産高

学舎

バイオサイエンス専攻 植物分子生理学研究室
山田 宏機

4回生でバイオサイエンス学科の植物分子生理学研究室に所属され、修士課程も併せると2年半を研究室で過ごしました。振り返れば、この研究室生活は朝から晩まで実験に明け暮れ、あつという間に時間が過ぎていきました。その中で、私は実験の技術や知識だけでなく、他にも多くのことを学びました。

4回生の最初の頃は実験操作にも慣れておらず、あまり結果がでないことに悩んだ時期もありました。しかし、毎日の実験計画と目標を明確に立てることで一つ一つ結果が出てくるようになり、研究の面白さや奥深さを知ることが出来ました。また、院生になつてからは学会やセミナーでの発表の機会が増え、(少しは)緊張せずに人前で話せるようになりました。そして、私の周りにはいつも親切な助

ミネソタ研究紀行

バイオサイエンス専攻 動物発生学研究室
谷 哲弥



言をくださる先生や先輩、励ましてくれる友人や後輩がいました。毎日家族よりも長い時間一緒に過ごし、時には感情を露わにして意見を交換したこともありました。しかし、ここで出会った人々と共に過

私は2009年8月から1年間の予定で、アメリカミネソタ州にあるミネソタ大学幹細胞研究所で在外研究を行ってきました。ミネソタ州はアメリカ中西部に位置し、五大湖の一つであるスベリオル湖やミシシッピー川の源流を有し、私の住むミネアポリス市とミシシッピー川を挟んで隣り合わせのセントポール市とともにTwin citiesと言われています。ミネソタ州の気候はアメリカの冷蔵庫といわれる程の極寒で冬が長いことでも有名です。冬は水点下20度まで下がりますが、クロスカントリースキーやアウトドアを楽しむことができます。また、全米一の大きさを誇る室内型ショッピングモール Mall of AmericaやNFLのバイキングスを有しスポーツ観戦やショッピングに事欠きません。自動車のライセンプレートには

ごした楽しい時間は、私の研究室生活の何よりの宝です。現在、私はビタミンCの酸化還元状態を調節する酵素に着目し、植物の環境ストレス応答機構を分子遺伝学的に解析しています。この研究の成

10000 Lalesと書かれているように自然豊かでカヌーやアウトドアスポーツ、ゴルフ場も数多くあることからこの州の雰囲気がおわかりいただけると思います。さらに治安は良く、社会福祉、教育、文化のレベルが高いことからアメリカ人が住みたい町として常にランクされています。

さて、私の所属する幹細胞研究所について説明します。今年オープンしたばかりの大学専用のアメリカンフットボールスタジアムの前に建物があり、33の研究チームによ

果が「砂漠でも生育可能な植物の作出」に少しでも貢献できるように、残りわずかの時間で多くの結果を出せるように頑張りたいと思います。

り再生医療を柱として基礎から応用まで幅広く研究が行われています。私は、体細胞がiPS細胞に変化する際のリプログラミング機構について基礎研究を行ないました。日本のような研究室の仕切りがないオープンスペース型実験室で研究設備の共有や研究者同士の交流が活発で日々の研究がとてもスムーズに遂行できたのは、とても有意義でした。最後に、このような貴重な体験を行う機会を与えて下さいました近畿大学ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。





農学部におけるものづくり村は、『ものづくり』という生産の場を通して農学や環境教育を充実させる、また、小中学生や市民の参加を求めることによって農学部をよりアピールすることを目的に設立されました。『ものづくり村』に関する構想が提出されたのは平成18年で、平成19年から、その場所となる農学部キャンパスの西側にある山手の斜面を切り開いた土地の整

農学部

『ものづくり村』

からのご報告



備が開始されました。地面を覆っていた雑草や雑木が取り除かれ、平成20年には区画整理がなされました。『ものづくり村』の面積は17haほどありますが、現在、畑として利用されている栽培面積は8haほどです。しかし、これらの畑は作物を栽培するには十分な状態ではありません。昨年から野菜の栽培を開始していますが、土壌はまだ肥沃でなく、畑の表面には多くの石こ

ろが転がっています。土中に埋もれている大きな石に悩まされることもあります。獣害や虫害の被害も大きく、スイカの栽培では100個ほど果実ができていますが、成熟間近にアライグマと思われる動物に全部食べられてしまっています。栽培に関しては多くの問題が残っています。

現在、栽培に興味をもって、いる有志の学生たちによって栽培がおこなわれていますが、広い面積を管理するにはまだ人手が足りない状況です。これからは、先生や学生に栽培に積極的に参加していただくよう呼び掛けを行い、『ものづくり村』を充実させたいと考えております。



にもご臨席賜りました。式典では、50年という歴史の重さを感じると共に、世代を超えたOB諸氏の園研への想いがひしひしと伝わってまいりました。今回、残念ながらお仕事を休調などで参加できなかった方も多くおられたと思います。園研OB会はこの先も延々と続いていくものですから、いつか、学生時代と共に園研で過ごされた方と昔話に花を咲かせ、現役の話に耳を傾け園研の先輩にとどまらず人生の先輩としてアドバイスを頂ければ幸いです。

卒業生によるキャリア支援」 KINKAN会は、近畿大学農学部食品栄養学科管理栄養士養成課程の卒業生で組織している会で、二〇〇七年に発足しました。この会の趣旨は卒業生の輪を広げ、お互いに情報交換を行うことを目的としています。今回、緑友会（食彩会）の支援を頂き、初めてのイベントを開催することが出来ました。参加者は会員、在校生、教員、総勢一五〇名になりました。渡辺克美食品栄養学科科長より開会の挨拶を頂き、菅野真美氏（一期生）によりKINKAN会の現状と展望（会員の職域分布や会則など）が報告されました。卒業生によるキャリア支援の一環として、在校生の今後の進路に役立たせるため、各職域（病院、企業、学校、行政など）で活躍している卒業生が職場の仕事内容、特徴などについて報告されました。約一時間三十分のイベントでしたが、参加者は皆一心に聞き入っていました。同窓生との横のつながりだけでなく、恩師、先輩、後輩の縦のつながりを深めることができる良い機会でありました。第二回は、この会をさらに発展させて行うことを約束して閉会しました。（青山晋也・八期生）



卒業生の皆様には、今後ともより一層のご協力ご支援をお願いいたします。また、園研50周年を記念して農学部キャンパス内にイチヨウを植樹しました。最後になりましたが、園研OB卒業生の住所変更・お問い合わせなどは園研メール（enken@nara-kindai.ac.jp）へ連絡頂ければ幸いです。

卒業生の皆様には、今後ともより一層のご協力ご支援をお願いいたします。また、園研50周年を記念して農学部キャンパス内にイチヨウを植樹しました。最後になりましたが、園研OB卒業生の住所変更・お問い合わせなどは園研メール（enken@nara-kindai.ac.jp）へ連絡頂ければ幸いです。

平成21年度近畿大学農学部緑友会事業報告		
月日	項目	場所
4. 28	運営委員会	農学部D会議室
5. 19	終身会費納付書発送（727通）	
6. 6	幹事会	第1会議室
	1) 平成20年度事業報告	
	2) 平成20年度決算報告	
	3) 平成21年度事業計画（案）	
	4) 平成21年度予算（案）	第1会議室
	5) 幹事選出	
	6) 会報第14号の発行予定	
	7) その他	
6. 9	第1回会報編集委員会	
8. 25	在学生名簿調査完了	
8. 28	終身会費納付書2回目発送（405通）	
9. 24	第2回会報編集委員会	第2会議室
12. 25	会報第14号会員へ発送	
平成22年		
1. 8	終身会費納付書3回目発送（287通）	
3. 18	委員会	D会議室

平成21年度近畿大学農学部緑友会（卒業生部会）決算

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	642,123	郵便費	1,243,763
終身会費（前年繰越2名分）	20,000	印刷複写費	1,360,319
終身会費	5,510,000	会議会合費	60,250
広告掲載料	60,000	人件費	1,262,853
会報印刷・郵送代の負担金 （学生会より在学生分）	293,400	雑費	146,742
利 息	809	終身会費返金	10,000
		支出の部計	4,083,927
		次年度繰越金	2,442,405
合 計	6,526,332	合 計	6,526,332

会計幹事 吉川賢太郎 会計幹事 松田 克礼

上記のとおり、監査いたしました結果適正であります。

平成22年3月31日

監 事 小林 徹

監 事 武田 徹

